



## グリップヒーター取り付けについての補足

適合車種：SUPERCUB110 (2BJ-JA59)

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、  
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



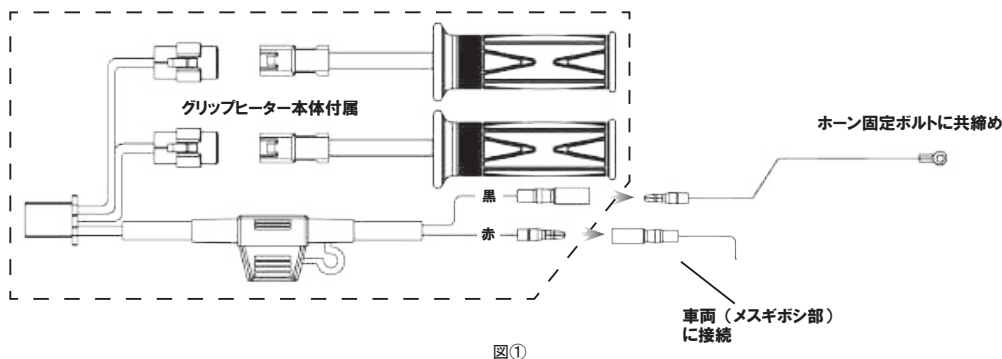
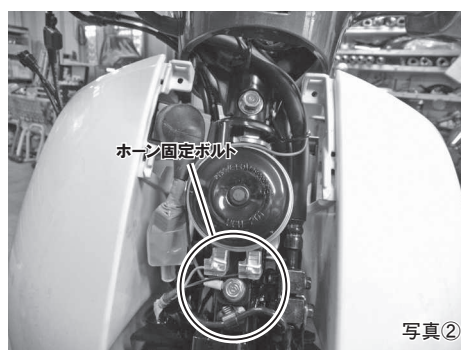
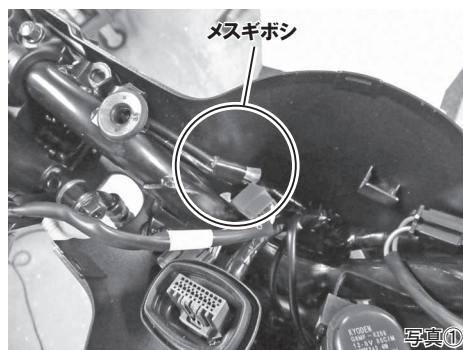
**警告** ※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な  
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

### ●接続する前に

車両のサービスマニュアルを参考にしてバックミラー、フロントカバー、アッパハンドルバーカバーを取り外します。  
写真①を参考にして、ブレーキランプスイッチのギボシの位置を確認しておきます。

### ①配線の接続について

グリップヒーターに付属しているハーネスを車両にあるメスギボシ部に接続します。  
また、ホーンを固定している部分のボルトを一旦外して、付属のアース線を間に挟んで(写真②)から  
共締めします。アース部は塗装をヤスリやサンドペーパーで剥がしてから取り付けします。このとき、  
左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。問題無く動作すれば、  
グリップとスイッチは一旦外します。



図①

### ②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着している  
ボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

### ③カウルの加工

写真③の白く塗られた部分をスイッチの配線と  
左グリップの配線が通るように加工します。



写真③

### ④スイッチ部の取り付け

#### <HGの場合>

スイッチの配線は左グリップと同様にの先ほど  
加工したカウル部から配線を通すようにして  
別途ステーを購入して固定するか付属の  
両面テープでハンドルカバー部に貼り付けて  
固定します。  
また、ウインカーなどの操作の邪魔にならない  
位置に注意して固定します。

#### <SPの場合>

グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプ  
スイッチをハンドルパイプの左側グリップ部に  
差し込んで固定します。(写真④)  
→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に  
固定してください。



写真④

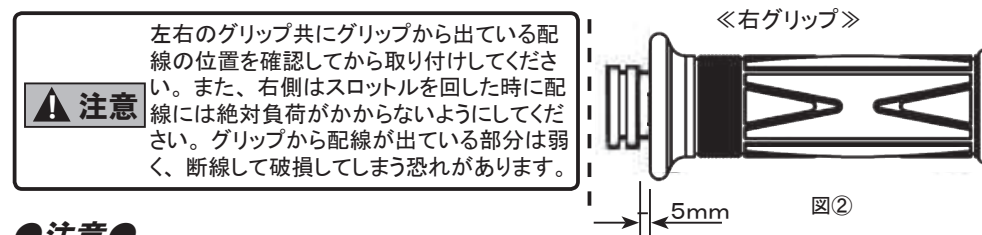
### ⑤左右グリップの取り付け(参考例)

#### <SPの場合>

グリップヒーター本体の説明書を参考に、必要に応じてスペーサーを先に入れてからグリップを  
取り付けしてください。

#### <以下、HG、SP共通>

グリップヒーターの配線位置を間違えないようにグリップヒーターを差し込みます。このとき、  
グリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。また、  
右グリップは図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。



### ●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強く  
ねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがあり  
ますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないで  
ください。(特に右側)。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかから  
ないように取り付けてください。  
※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全開まで  
戻ることを確認、点検を行ってください。

## ⑥左側バーエンドの取り付け（写真⑤）

### ※SPのみ（HGはそのまま取り付けする）

左右共にグリップヒーターの取り付けが終わったら、左側バーエンドの取り付けをします。（右側は純正と同様に取り付けします。）

純正グリップ状態に対して、約8mm長いので純正バーエンドを固定する際に付属のスぺーサー（5mm＋3mm）を左側のみに1個ずつ入れてからバーエンドを付属のボルトを使用して固定します。

※純正ボルトのままだとネジ山がほとんどかからないので絶対に使用しないでください。



## ⑦配線のまとめ

それぞれの取り付けが終わったら、車両のハーネスなどに沿わせながら、左右グリップ、スイッチの配線を通してグリップヒーターハーネスのカブラーに接続します。

配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどでうまくまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作の邪魔になっていないか確認します。



## ⑧取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにしてグリップヒーターの動作確認をします。

問題なく温まったら、カウルを元に戻して取り付け完了です。

### ●構成部品●

- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・アース線・・・1本
- ・ワッシャー（2種類）・・・各1個（※SPのみ）
- ・スクリュー・・・1本（※SPのみ）
- ・書類・・・1部

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625  
endurance-parts.com

2022.09.12